

5 住宅及び生活環境の整備 (1) 住宅

父島・母島には、小笠原住宅を含む公的住宅のほか個人住宅、民間共同住宅、宿舍等がある。
小笠原住宅は、小笠原諸島へ帰島を希望する旧島民の帰島の促進並びに小笠原諸島の住民生活の安定及び福祉の向上を図るため、昭和44年度から平成18年度にかけて、都が国の補助を受けて建設してきたおり、全世帯数の約3割を占めている。
また、熱帯・亜熱帯に大量に棲息するシロアリにより住宅への被害が甚大となっている。

現状と課題

- 住宅用地の取得が難しく、建設コストも膨大であることから、個人住宅の建設及び民間賃貸住宅の供給が進んでいない。
- 復帰当初に建設された小笠原住宅は、築齡で間取りも古く使い勝手が悪い上に、一部を除き老朽化が進行している。
また、階段が狭く急勾配であるなど、高齢者の生活に配慮した構造になっていない。
- 小笠原住宅は旧島民の帰島促進を目的として建設されてきたが、復帰から45年が経過する中で、その果たす役割を見直す時期を迎えている。
- シロアリについては、父島及び母島のそれぞれの実情に応じた対策が必要である。特に母島については、また集落へと拡散してきているため、模範的に向けて積極的取り組みが必要がある。



浦瀬アパート(父島)



沖村アパート(母島)

今後5年間の取組

- 定住を促進するため、民間による住宅供給への支援なども含めた小笠原村全体の住宅政策について検討する。【村】
- 住宅政策については、都と小笠原村の役割分担を明確にするとともに、居住環境の向上及び自然環境に配慮した住まいづくりを目指し、老朽化した小笠原住宅の建替えを計画的に推進する。【都・村】
- シロアリによる住宅等への被害を防除するため、父島では「人とシロアリとの住み分け」、母島では「根絶」を目指し、関係機関が連携して総合的な対策を引き続き推進する。【都・村】

年次計画

具体的な取組	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
住宅政策の検討			新規		
小笠原住宅の建替え			継続		
シロアリへの防除対策			継続		



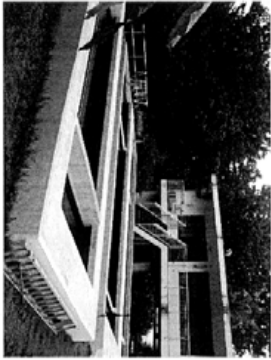
母島におけるシロアリ防除対策の取組
(シロアリの駆除方法の一つであるベイト
工法によるスチーショナルモニタリング)

5 住宅及び生活環境の整備 (2) 簡易水道

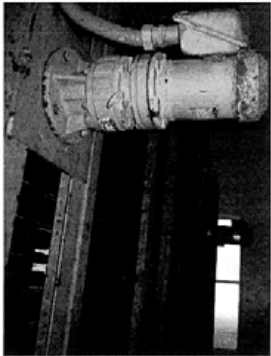
水道については、復帰当初から集中的に生活基盤施設として整備が進められ、父島・母島ともに簡易水道事業により給水している。水道普及率は、父島が99.4%、母島が100%（平成25年3月31日現在）となっている。

現状と課題

- 父島・母島ともに浄水場の老朽化が著しく進行している。都は、小笠原村が計画的に更新事業を実施するに当たり、湯水対策、水質・維持管理等を総合的な視点で検討し、指導・助言等を行っている。
- 父島の浄水場は、南進トラフ地震等の発生に伴う大規模津波により浸水することが想定されるため、平成23年度から扇浦地区の高台への移転工事を進めている。
- 小笠原諸島は、地理的・地形的特性から湯水に対するリスクを抱えており、過去にも湯水による給水制限が発生するなど、水源の確保が課題となっている。
- 母島では、浄水場の老朽化と併せて浄水処理方法の変更を含めた更新が必要である。



扇浦浄水場（父島）



沖村浄水場（母島）

今後5年間の取組

- 父島の浄水場については、平成27年度供用開始に向けて着実に工事を進める。
【村】また、新たな水源の確保のため、第2原水調整池の整備に着手する。
- 母島の浄水場については、水質改善・効率的な維持管理等を総合的な視点で検討し、浄水処理方法等の見直しを行なうなど、計画的に建替えを進める。
【村】
- 良質な水の安定供給のため、津波対策や湯水対策等を考慮した計画的な水道施設整備及び維持管理を行っていくための指導・助言等を引き続き行う。
【都】

年次計画

具体的な取組	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
浄水場の建替え	父島 工事	母島 供用開始			
父島第2原水調整池の整備			設計・工事		
計画的な施設整備・維持管理への支援				設計・工事	継続

コラム：国内公営水道事業初採用の浄水処理方法

父島の扇浦浄水場の更新事業では、「帯磁性イオン交換処理技術」という国内公営水道事業初採用の浄水処理方法の導入を予定している。
帯磁性イオン交換処理技術は、水源水質の高濃度有機物対策として、帯磁性を帯びたイオン交換樹脂に原水を接触させ、溶存有機物をイオン交換で除去する。特に夏場に発生するトリハロメタン前駆物質の除去効果が高いとされており、住民をはじめ、世界自然遺産登録に伴い増加している観光客に安心して安心・安全な水の供給に最新技術の貢献が期待される。